

各 位

会 社 名 北日本紡績株式会社 代表者名 取締役社長 直山 秀人 (コード 3409 大証 第2部) 問合せ先 常務取締役 大杉 幸正 (TEL. 076 - 277 - 7531)

# 特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成20年11月26日開催の取締役会において、下記のとおり能登工場を停止、閉鎖し、松任工場へ生産拠点を集約することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、能登工場閉鎖に伴う特別損失等の発生及び最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年6月 27 日付「固定 資産の譲渡及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した平成 21 年3月期(連結及び個別)の業績予 想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1 生産拠点集約の理由

当社は、時代とともに生産拠点を移して参りました。能登工場は、平成元年11月より太番カーシート糸を主力とし量産して参りました。その後、カーシート需要が長繊維に代替したものの、近年は資材用途及び衣料用レーヨン混紡糸と商品転換しながら、量産能力を発揮して合繊業界の一角を成して参りました。しかしながら、今回の急激な変動、特に円高の進展、国内消費の落ち込み、製品価格の高騰等により、量産銘柄そのものの見直し・置換えが一段とスピードをまして進みました。このことにより、当社の中期見通しでは量産による収益力は今後低下し、多品種生産やアラミド生産による収益力を高めるべきと判断いたしました。幸いにも取引先各社からも生産拠点としての高い評価を頂いており、松任工場集約化と更なる高機能化に取組み、収益の黒字化を目指すことで事業の方向性の一致を頂いております。生産拠点を集約することにより、平成21年以降減収とはなるものの、アラミド生産及び特化糸生産を更に高め、収益力の向上に努め、来期黒字化の柱とするものであります。

# 2 能登工場の概要

所在地 : 石川県鳳珠郡能登町七見丙字4番5

事業内容: 衣料・産業資材用ポリエステル短繊維の製造

売上高 : 3億71百万円(平成20年3月期)

従業員 : 38 名(平成 20 年3月末)

#### 3 工場閉鎖の日程

平成 20 年 11 月 26 日 取締役会決議 平成 21 年1月 31 日 工場閉鎖予定

### 4 今後の見通し

(1) 平成 21 年3月期連結業績予想の修正(平成 20 年4月1日~平成 21 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,700 百万円	△70 百万円	△70 百万円	△98 百万円	△7.93 円
今回修正予想(B)	1,450 百万円	△90 百万円	△90 百万円	△225 百万円	△18.20 円
増減額(B-A)	△250 百万円	△20 百万円	△20 百万円	△127 百万円	_
増減率(%)	△14.7%		_	_	_
(ご参考)前期実績 (平成 20 年3月期)	1,579 百万円	△134 百万円	△134 百万円	△123 百万円	△9.96 円

## (2) 平成 21 年3月期業績予想の修正(平成 20 年4月1日~平成 21 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,700 百万円	△74 百万円	△74 百万円	△100 百万円	△8.09 円
今回修正予想(B)	1,450 百万円	△95 百万円	△95 百万円	△230 百万円	△18.61 円
増減額(B-A)	△250 百万円	△21 百万円	△21 百万円	△130 百万円	_
増減率(%)	△14.7%		_	_	_
(ご参考)前期実績 (平成 20 年3月期)	1,579 百万円	△132 百万円	△130 百万円	△117 百万円	△9.49 円

## 5 修正の理由

売上高は、アラミド繊維の受注は堅調に推移しておりますが、ポリエステル繊維の受注は海外糸の供給増加や、原材料価格の高騰により、厳しい受注環境となる見通しとなったことと、能登工場の閉鎖により、前回予想数値を下回る見込みとなりました。また、当社能登工場の閉鎖に伴い、特別損失として退職金及び減損損失を1億2百万円計上する予定のため、平成21年3月期業績予想を修正いたします。

(注)上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な状況に基づき判断した見通しであり、当社を取り巻く様々な変動要因により、実際の業績が上記数値と異なる可能性があります。

以上